

# 1700人が海岸清掃

## ○十市一久枝○

海岸愛護運動月間中の七月二十一日の早朝、地元住民や小学生ら約千七百人が十市から久枝までの浜辺を一斉清掃しました。みんなの共有財産である海岸を美しくしようと、建設省高知工事事務所、県南国土木事務所、海岸地域美化推進協議会、市が主催して地区民らに呼び掛けたもので、今年で三回目。朝六時から九時ごろまで十市、浜改田、前浜、久枝の各地区で一斉に作業を行いました。

このうち、十市地区では小笠原市長が「私たちの郷土を一層美しいものにしよう」とあいさつ。参加者はビニール袋を手に浜辺に打ち上げられた空き缶や空きビン、発泡スチロールなどを拾い集め、あちこちで焼却する一方、不燃物は清掃車で回収。全員が浜を美しくとの願いを込め、約三時間にわたって汗を流しました。

この日各地区で回収した不燃物は二トランプ十三台と軽四トラック二台分。清掃に参加した関係者



集めたゴミは、その場で焼却



早朝から千七百人が参加し海岸を清掃

## 明るい社会づくりを訴え

### パネル展やパレード



明るい社会づくりを呼び掛け後免商店街をパレード

の話では「来年は、海岸地域の住民だけでなく、もっと多くの市民が参加してほしい」と話していました。

海岸は、人と海とのふれあいの

場、生産の場としてさまざまな恩恵を与えてくれます。お互いが美化意識をしっかりと持って、もっと美しく守り育てたいものです。

「社会を明るくする運動」月間の七月十九日、保護司会、更生保護婦人会、南国警察署など関係団体が協力して「犯罪のない明るい社会をつくろう」とパネル展や市中パレードなどの行事を行いました。

まず、市役所一階ロビーで交通事故や覚せい剤のパネル展、高知刑務所作業製品の展示即売が行われ、四階では青少年や婦人問題の相談所も開設されました。

午後からは、南国地区保護司会の川田光城会長、南国署の池田久利署長ら先頭に約五十人が後免町商店街をパレード。うちわやチラシを配り、市民に協力を呼び掛けました。

この後、市役所で少年問題をテーマに公開ケースの研究会が開かれるなど、一日中運動を盛り上げました。